

ひろしま流域フォーラム

Hiroshima Source-to-Sea Forum

Ryukichi

vol.

1

環境省地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

日 / 2026 10 / 8 木 場 / エディオンピースウイング広島 ラウンジE&ビジネスラウンジ 定員 / 50 名様 参加 / 無料
 時 / 13:30 - 16:30 所 / 〒730-0011 広島県広島市中区基町15-2-1 4階



Session 1

第1部 / 13:35 基調講演「流域とローカルSDGs」

speaker | 環境省大臣官房地域政策課 課長補佐 / 菅谷 真実
地域循環共生圏推進室 室長補佐



森里海連環など地域研究を経て2017年経産省入省。省エネ課、内閣府沖縄、経産省教育産業室、原子力損害賠償機構を経て2024年環境省地域循環共生圏推進室へ出向。地域資源による環境・社会・経済三方よしの事業・地域づくりとランジション研究を推進。

moderator

県立広島大学大学院
経営管理研究科 教授
博士(工学) 一級建築士
百武ひろ子



まちづくり・地域環境分野で社会的合意形成の実践研究に従事。早大建築学科卒、同大学院修了後、野村総研を経てハーバード大学院GSDで都市デザイン修士取得。県立広島大学大学院HBMSで2016年発足時から教鞭をとる。2025年『月刊技術士』にブルーカーボン論考を寄稿。

Session 2

第2部 / 14:00 先進事例紹介 / クロストーク

theme
「流域」

Ryuiki

「森は海の恋人」——東北・三陸の先進事例から、広島流域のあり方とこれからを考えます。広島の流域が持つ山・川・海、そこに「まち」を加えた自然と人々の関係性は、何を生み出すのか。流域が秘めるポテンシャルを探ります。



森 優真
speaker
合同会社 もものわ

神奈川県横須賀市出身。潜水士等の資格を持ち、東日本大震災を機に2014年石巻市へ移住。「山が枯れると海が枯れる」との言葉から森里海循環に気づき、2022年もものわを設立。「海を良くする林業」をテーマにチェーンソー技術指導など研修事業を展開。



川鍋 一樹
speaker
一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン

埼玉県鶴ヶ島市出身。築地市場の仲卸で水産業に惚れ込み、ITエンジニアを経て石巻へ移住しフィッシャーマン・ジャパンへ参画。海の変化に向き合い、現場と研究者をつなぐ研究所を設立。現在は石巻と三重県南伊勢町を拠点に活動。

Case Study / Talk Session

Session 3

第3部 / 15:00 参加型パネルディスカッション

山、川、海、まちの各エリアで活動するパネリストに、会場の参加者のみなさんも加わり、「ひろしま流域のあり方」について話し合います。

panelists

合同会社 もものわ 森 優真

生原商店 生原 誠之

三次の里山を拠点に浄水場汚泥を独自技術で再生し、水質浄化や土壌改良にも応用可能な素材「瀬織」を用いた循環型ものづくりを展開。せとうちコンポストはひろしまグッドデザイン賞を受賞し、保育菜園事業として県内に5か所普及中。



一般社団法人RiverDo!川辺コンソーシアム 岡本 泰志 理事

広島県世羅町出身。企業・NPO勤務を経てフリーランスに。「人や想いをつなぐ潤滑油」をモットーに、行政・企業・NPO・地域をつなぎ、プロジェクトや組織運営を伴走支援。RiverDo!川辺コンソーシアム理事として広島の川辺・流域のネットワークづくりに取り組む。



一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン 川鍋 一樹

一般社団法人フウド 後藤 峻

広島県出身。まちづくりコンサルタントとして、全国100以上の地域に携わった後、2016年江田島市へ移住。2018年フウド設立。海ごみ対策・藻場再生・海洋教育を通じ、世界に誇れるSATOUMIの実現を目指している。



株式会社ひろぎんホールディングス執行役員/ 木下 麻子 サステナビリティ統括部長

2016年に広島へ移住し広島銀行に入社。人事として採用・ダイバーシティ推進を担当し、2024年4月より現職。企業ネットワーク「はたフル」を立ち上げ、多様な人材が活躍できる風土づくりと企業間交流を推進。登山を楽しみながら自然豊かな広島で公私充実の日々を送る。



お問合せ先 | ひろしま流域フォーラム実行委員会事務局 | 担当 | 岡本((一社)HLL・理事) | メール | tdj230311@gmail.com

お申し込み	氏名	参加人数	TEL
	MAIL	お連れ様の氏名	

お申し込み
お申し込みはこちらから ▶

